

徹底的な作業が結実し、フィンランドでシトロエン C3 WRC が 2 位入賞

2018 年の世界ラリー選手権 (WRC) に C3 WRC で参戦するシトロエン・レーシングは、7 月 26 日～29 日にかけて開催された第 8 戦フィンランドに参戦し、3 台すべてが完走を果たしました。なかでもマッズ・オストベルグ／トルステイン・エリクセン組は、最終日まで激しい上位争いを演じ、2 位の座を守り抜きました。



ラリーの展開

このラリーフィンランドで過去4回(2008年、2011年、2012年、2016年)の総合優勝を飾っているシトロエン・レーシングは、今年もその実力を発揮しました。ドライバーが絶対の自信をもち、フィンランドの超高速ステージを戦うためには、精密なマシンが求められます。それは今年のラリーでも、例外ではありませんでした。26 日木曜日に行われたシェイクダウンテストでは、オストベルグがベストタイムをマーク。過去 13 回のラリーフィンランド参戦歴を誇るオストベルグは、シトロエン C3 WRC の出来を絶賛しました。さらにクレイグ・ブリーン／スコット・マーティン組も僅差の 2 番手タイムで続きます。ラリー本番では、このふたりが強さを見せることが予想されました。

27 日の金曜日からは本格的な競技が始まると、オストベルグはすぐに総合 2 番手につけ、SS4 では今大会最初のベストタイムをマークして総合首位に浮上します。午後にはさらに 2 回の SS ベストタイムを刻み、2 番手とのタイム差を拡大。最終的には、ラリーを制したトヨタのオット・タナクに 5.8 秒差の総合 2 番手で金曜日の走行を終えました。オストベルグは翌日の土曜日にも好走を続けますが、このフィンランドで過去 3 勝を挙げているヤリ・マティ・ラトバラ(トヨタ)が背後から追い上げます。オストベルグは用心のためにスペアタイヤを 1 本多く積んでおり、車重が増していたにもかかわらず、2 番手を守り切りました。最終日となる 29 日日曜日を迎えた段階で、2 番手オストベルグと 3 番手ラトバラの差はわずかに 5.4 秒です。この日の序盤でオストベルグは今大会 4 度目となる SS ベストタイムをマーク。ラトバラの猛攻を見事に抑え切って、ラリーフィンランドでの自己最高位を更新しました。

一方のブリーンは SS2 で不運にもパンクに見舞われて大幅なタイムロスをおぼしめし、早々に上位争いへの望みを断たれてしまいます。その後も懸命に走るブリーンでしたが、失ったタイムを取り戻すことはかなわず、残る日程を不利な出走順で走らざるを得なくなっていました。しかし、ブリーンはわずかなチャンスも見逃すことなく、本来のペースを披露。SS8 ではベストタイムを獲得したほか、パワーステージでも好タイムを刻みマークし、最終的に総合 8 位でフィニッシュしました。また、第 5 戦アルゼンチン以来となる、今季 2 度目の WRC 参戦に臨んだハリ・アル・カシミ／クリス・パターソン組は、土曜日の SS12 でミスをおぼしめしリタイヤとなってしまいましたが、最終日にはラリー 2 規定を適用して再スタートを切り、ラリーを走り切りました。

チームコメント

■ マッズ・オストベルグ

「この素晴らしいステージで、上位を争う走りが出て、本当にハッピーです！ 自分のレーシングキャリアの中で、最高の出来事と言ってもいいくらいです。シトロエンチームのみんなが懸命に働いてくれたことも、とてもうれしく思います。素晴らしい仕事で、自分をこの位置に押し上げてくれました。このチームのメンバーであることを、私は誇りに思います。ラリー前に行ったテストから、シトロエン C3 WRC は過去フィンランドを走ったなかで最高のマシンだと分かっていたし、今回、それを披露することができてうれしく思います」

■ クレイグ・グリーン

「金曜日に喫したパンクが大きな痛手となりました。残り 2 日間で早いスタート順を割り当てられたために砂利掃き役をしなくてはならなくなり、厳しい週末となってしまいました。その一方、悪条件下でも良いタイムが出せることを示せた部分もあります。特に最終 SS のパワーステージを、5 番手タイムでフィニッシュし、1 ポイントを追加できた点はよかったと思います。これで、次のドイツをポジティブな感触で迎えることができます」

■ ハリ・アル-カシミ

「土曜日にミスをしてしまったため、自分たちにとっては厳しいラリーになりましたが、最終日は競技に復帰できて、この最高のステージを楽しむことができました。さらに、これまでの必死の作業が素晴らしいリザルトで報われたチームのことも、とても喜ばしく思います」

世界ラリー選手権 (WRC) 第 8 戦フィンランド 最終結果

1.	オット・タナク / マルティン・ヤルベオヤ	トヨタ・ヤリス WRC	2:35:18.1
2.	マッズ・オストベルグ / トルステイン・エリクセン 	シトロエン C3 WRC	+32.7
3.	ヤリ・マティ・ラトバラ / ミーカ・アンティラ	トヨタ・ヤリス WRC	+35.5
4.	ヘイデン・パットン / セバスチャン・マーシャル	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	+1:35.6
5.	セバスチャン・オジエ / ジュリアン・イングラシア	フォード・フィエスタ WRC	+2:15.0
6.	テーム・スニネン / ミッコ・マルックラ	フォード・フィエスタ WRC	+2:19.2
7.	エルフィン・エバンス / ダニエル・パリット	フォード・フィエスタ WRC	+2:29.5
8.	クレイグ・グリーン / スコット・マーティン 	シトロエン C3 WRC	+3:08.4
9.	ティエリー・ヌービル / ニコラ・ジルスール	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	+3:51.8
10.	アンドレアス・ミケルセン / アンデルス・ヤーゲル	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	+8:37.4
37.	ハリ・アル-カシミ / クリス・パターソン 	シトロエン C3 WRC	+1:06:10.2

WRC マニファクチャラーズ選手権 ポイントスタンディングス

1.	ヒュンダイ・シェル・モビス・ワールドラリーチーム	228
2.	M スポーツ・フォード・ワールドラリーチーム	202
3.	トヨタ・ガズレーシング・ワールドラリーチーム	201
4.	シトロエン・トタル・アブダビ・ワールドラリーチーム 	153